

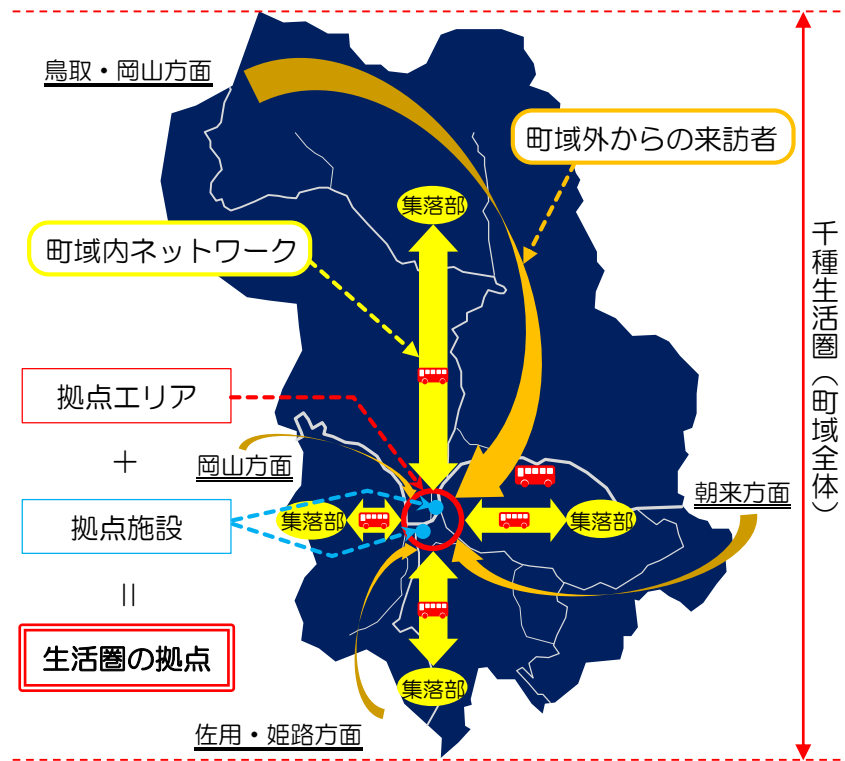
# 千種生活圏の拠点づくりの考え方(概要版)

## 生活圏の拠点づくりの趣旨と目的

町域を“生活圏”と捉え、生活に必要な様々な機能が集まった“拠点”をつくと共に、公共交通や情報通信などのネットワークにより、将来にわたって地域の利便性や賑わいを確保し、さらには地域活力の向上を図ることを目的としています。

### 1 千種生活圏の将来像

日常生活に必要な機能が集積している千種市民局周辺を「拠点エリア」とし、老朽化が進む市民局を再整備する(仮称)千種市民協働センターやすでに保健福祉の拠点として機能しているエーガイヤちくさを拠点の核となる施設として機能させることで、拠点エリアにおける賑わいの確保・創出と市民の利便性向上を図り、町域内外より人が集う「生活圏の拠点」を形成します。



### 3 拠点施設の機能

千種市民局とセンターちくさを集約・複合化した(仮称)千種市民協働センターを整備し、拠点に賑わいを創出していきます。

<現状>

**千種市民局の機能**  
 住民窓口(戸籍・税・医療・年金等の窓口)  
 地域づくり(自治会、消防、防災等)  
 産業・社会資本(産業、建設、水道等)

**センターちくさの機能**  
 生涯学習事務所、生涯学習、サークル活動  
 文化ホール、集会所、避難所

**エーガイヤちくさの機能**  
 保健福祉センター、医療機関  
 子育て支援センター、福祉避難所  
 社会福祉活動の拠点、公共交通の拠点

<整備後>

**(仮称)千種市民協働センター**  
 住民窓口(戸籍・税・医療・年金等の窓口)  
 地域づくり(自治会、消防、防災等)  
 産業・社会資本(産業、建設、水道等)  
 生涯学習、サークル活動  
 文化ホール、集会所、避難所  
 憩い・交流、休憩・喫茶  
 その他拠点施設として必要な機能

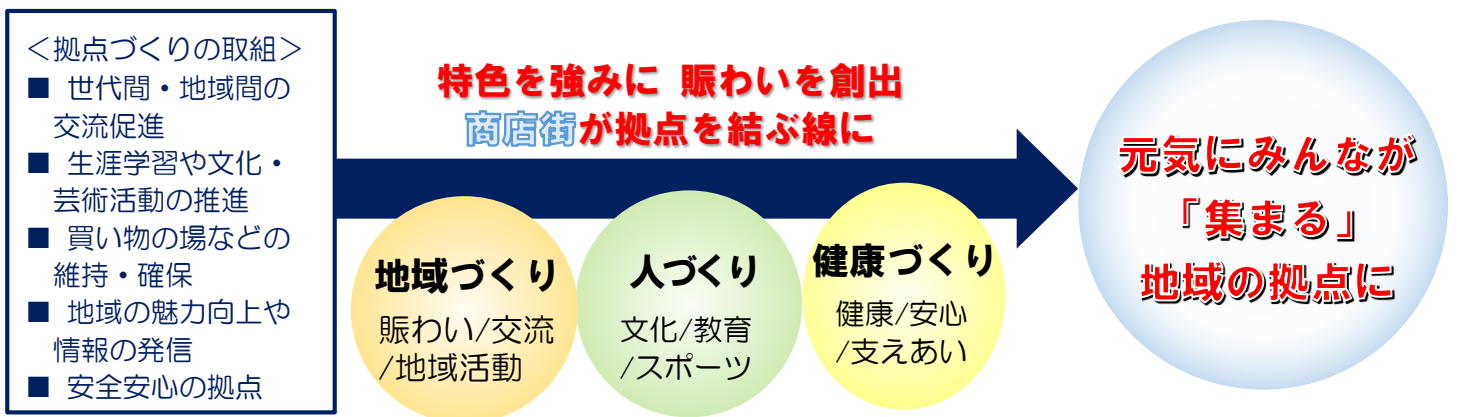
**エーガイヤちくさ**  
 保健福祉センター、医療機関  
 子育て支援センター、福祉避難所  
 社会福祉活動の拠点、公共交通の拠点

### 2 生活圏の拠点づくりに向けた基本方針

- (1) 世代間・地域間の交流促進  
多世代が気軽に集い交流できる空間づくりや、地域づくりについて話し合える場づくり。
- (2) 生涯学習や文化・芸術活動の推進  
生活圏(集落・地元)で楽しみや生きがいを育み、その活動が拠点においてさらに広がる環境づくり。
- (3) 地域経済活性化と買い物の場の維持・確保  
地元商店の利用促進や新たな需要の喚起など地域経済を活性化し、地域経済が循環する仕組みづくり。
- (4) 地域の魅力向上や情報の発信  
今ある地域資源の有効活用や効果的なPRなど地域の魅力づくりや情報発信の充実。
- (5) 安全安心の拠点  
防災情報発信や避難所機能の向上、災害時の復旧・復興の拠点として機能する施設整備や体制づくり。

### 4 持続可能な地域づくり

資源を有効活用しながら「地域づくり」「人づくり」「健康づくり」など千種町の将来につながる拠点を形成します。また、「集う」ということをテーマに、今ある特色を強みに変えながら、拠点に賑わいを創出し、商店街が線となって拠点を結ぶことで、将来にわたって持続可能な地域づくりを進めます



### 5 施設整備のスケジュール

平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	
設計事業者の選定	基本設計(本設計)	入札	実施設計	建設工事	竣工
	基本設計(基本計画)				